

II. The Entomological Review of Japan, 42: 143–152.
 Tamura, S. & Tamura, T., 1988a. A study on the electron microscopic comparison of the elytra of Cerambycidae (Coleoptera), part III. The Entomological Review of Japan, 43: 171–178.
 田村 周・田村 保, 1988b. 淡路島未記録のカミキリ 2 種. 月刊むし, (214): 10.
 田村 保・田村 周, 1990. 山口県滑国育林のカミキリ 4 種の記録. 月刊むし, (238): 31.
 田村 周・田村 保, 1992a. ヒメコブヤハズカミキリの生態. 月刊むし, (255): 12.
 Tamura, S. & Tamura, T., 1992b. A new species of *Leiopus* Serville

from Japan. The Entomological Review of Japan, 46: 195–197.
 山内健生, 2018. コレクション展 美しき蝶たちとの出会い—江田コレクション展 2018. ひとはく通信ハーモニー, 101: 2–3.
 横川忠司・山内健生, 2018. 兵庫県人と自然の博物館に収蔵されている稲原延夫コレクションのクワガタムシ科標本. さやばねニューシリーズ, (30): 22–26.

(2019年3月9日受領, 2019年5月11日受理)

【短報】街路樹のプラタナスで観察されたエノキコメツキダマシ

エノキコメツキダマシ *Dyscharachthis amplipollis* (Fleutiaux, 1922) は、北海道、本州、四国、九州、奄美大島、台湾、シンガポールに広く分布することが知られているコメツキダマシである(鈴木, 2016)。本種は、灯火に誘引された個体や、エノキやケヤキなどの広葉樹の樹皮下に隠れた個体が発見される例が多いが、日中に活動している姿が観察・報告された例は少ない。筆者のひとり、田尾は、神奈川県横浜市内において、日中に街路樹のプラタナスを歩き回っている本種を観察しているの、ここに報告しておきたい。

観察・採集場所：神奈川県横浜市鶴見区栄町通付近。

観察樹：道路脇に植栽された街路樹のプラタナス(モミジバズカケノキ)。

観察日時：12 exs., 17. VI. 2010 (午前10時～午後1時頃)、田尾美野留観察・採集(鈴木保管)。

天候：晴れ。

鶴見区栄町通は、横浜市の北東部に位置する市街地で、道路沿いには街路樹としてプラタナスが多く植えられている。本種が観察されたプラタナスは、一抱えほどある太さがあり、幹の一部はゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (Thomson,

1865) に食害され、所々に脱出口や排出されたフラスが確認された。幹は樹皮と形成層の一部が剥がれ落ちて木質部が露出して乾燥し、ゴマダラカミキリの脱出口近くでは、枯死した部分が深いところまで達していた(図1)。エノキコメツキダマシは、その露出・乾燥した木質部に止まっている個体や、その上で活発に歩き回っている個体が観察された。この日の横浜市の天気は晴れで、最低気温が22度、最高気温は30.5度と高く、虫の活動には好条件であったようである。コメツキダマシの仲間は、条件が良いと、ホストとなる枯れた樹木上に多くの個体が集まり、歩き回っては交尾をおこない、産卵する行動が観察されることがある。今回は、残念ながらそのような行動は観察できなかったが、ホスト以外の植物にこのように多くの個体が集中するとは考えにくい。本種の幼虫はエノキの枯れた材部を食べることが知られていることから(久松, 1985)、このようにまだ生きていた木であっても、樹皮が剥がれ落ち、木質部が露出した部分は産卵の対象となり、幼虫はその木質部をエサとして利用しているのかもしれない。コメツキダマシで、このような部分をホストとしても利用している例は、ほかにオニコメツキダマシ *Hylochares harmandi* Fleutiaux, 1900 でも観察されている(未発表)。

なお、現状確認をするため、2018年12月に同地を訪ねたが、残念ながら本木は既に伐採・撤去されていた。

引用文献

久松定成, 1985. コメツキダマシ科. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑(III): 42–51 (pls. 8–9). 保育社, 大阪.
 鈴木 互, 2016. 奄美大島で採集された興味深いコメツキダマシ 4 種. さやばねニューシリーズ, (21): 31–35.

(鈴木 互 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1
 法政大学第二高等学校生物科)

(田尾美野留 230-0026 横浜市鶴見区市場富士見町
 10-14)



図1. エノキコメツキダマシが観察されたプラタナス。